

使用上の注意

GS高ナット付きハンガー

品番	適応壁厚(mm)	下地厚(mm)	最大引張強度 N (kgf) _{t=mm}	参考ドリル径
HFS-40ロングポイント		鉄最大13.0	6.0t- 17,162 (1,750) 12.0t- 19,613 (2,000)	φ5.3~φ5.4
NHFS-25 p1.0細目ネジ	9	鉄1.6~3.2	1.6t- 3,100 (316)	φ5.0~φ5.1
NHFS-50 p1.0細目ネジ	34		2.3t- 7,100 (724)	
NHFS-75 p1.0細目ネジ	59		3.2t- 9,600 (978)	
NHFS-105 p1.0細目ネジ	89			
HFS-25 p1.8粗目ネジ	9	鉄1.6~3.2	1.6t- 3,099 (316)	φ5.0~φ5.1
HFS-50 p1.8粗目ネジ	34		2.3t- 4,992 (509)	
			3.2t- 6,188 (631)	
HFS-75 p1.8粗目ネジ	59	鉄2.3~4.5	2.3t- 4,864 (496)	φ5.2~φ5.3
			3.2t- 5,943 (606)	
			4.5t- 14,220 (1,450)	
HFS-105 p1.8粗目ネジ	83	鉄2.3~6.0	2.3t- 4,374 (446)	φ5.5~φ5.6
			3.2t- 8,424 (859)	
			4.5t- 13,818 (1,409)	
			6.0t- 18,240 (1,860)	
HFS-130 p1.8粗目ネジ	108	鉄3.2~7.5	3.2t- 8,071 (823)	φ5.6~φ5.7
HFS-185 p1.8粗目ネジ	163		4.5t- 13,121 (1,338)	
			6.0t- 17,475 (1,782)	
NFS-W3/8×18		鉄0.6~1.6	0.6t- 1,961 (200)	
			0.8t- 2,746 (280)	
			1.2t- 3,236 (330)	
			1.6t- 5,688 (580)	
HFW-70 p1.8粗目ネジ	10	木60以上	50mmねじ込み 6,718 (685)	
			60mmねじ込み 8,041 (820)	
			70mmねじ込み 8,189 (835)	
HFW-105 p1.8粗目ネジ	45	木60以上	60mmねじ込み 7,453 (760)	
			80mmねじ込み 8,140 (830)	
			100mmねじ込み 10,787 (1,100)	
HFW-145 p1.8粗目ネジ	85	木60以上	60mmねじ込み 7,355 (750)	
			80mmねじ込み 8,630 (880)	
			100mmねじ込み 11,278 (1,150)	
PHN-W3/8×8.5×35		コンクリート 60以上	埋め込み深さ:35mm 下穴径φ7 圧縮強度37.2N/mm ² 12,817 (1,307)	

推力 鉄下地の場合：20Kgf~25Kgf 木下地、コンクリートの場合：10Kgf~20Kgf
但し、工具に過大な推力を加えると、回転にブレーキを掛け穴開け・ネジ立ての能率低下を招きます。

推奨回転数：毎分1,300~1,700 コンクリート用毎分500~1,700

推奨工具 (回転専用のスクリュードライバーです。下記は2020.03現在を基にしています。)

コードレスドライバドリル
HiKOKI (旧日立工機)
DS18DBL2
18V
0~1,800回転



充電式ドライバドリル
マキタ
DF484D
18V
0~2,000回転



テクス用ドライバ
HiKOKI (旧日立工機)
W8V
100V
700~1,700回転



- ①安全率は吊る場合=4.0 壁面施工の場合=2.0を目安にして下さい。許容荷重の定めは致しかねます。施工状態の良し悪しで記載した最大引張強度は大きな差が生じますので、十分考慮して下さい。引張強度と圧縮強度は施工状態で著しく異なります。
- ①推奨工具は回転専用スクリュードライバーです。鉄下地・木下地用は14.4V以上の機種で毎分1,300~1,700回転、コンクリート用は18V以上の機種で毎分500~1,700回転で締結して下さい。
- ①推奨工具以外のインパクトレンチ・インパクトドライバーでは、適正な穴加工・ネジ加工が行えず強度の保証は致しかねます。
- ①コンクリート用の下穴径及び穿孔深さは厳守して下さい。(下穴径は過少、過大では最大引張強度の保証は出来ません。)穿孔に際しては、穴内の切粉除去をして下さい。
- ①木下地の場合木質、部位、樹齢、水分含有率、ねじ込み深さにより強度が異なりますので考慮して使用して下さい。
- ①付属の専用ビットの四角No.3を必ず使用して下さい。
- ①鉄下地が厚い場合でネジ加工がスムーズに行えない場合は、回転を下げてトルク調整をして締結して下さい。
- ①専用ビット及び推奨工具以外の使用では、ネジ頭部のリセス及びビットの破損を招き施工トラブルが生じます。
- ①締結下地に対し直角にねじ込み、曲げ方向の荷重が掛からない状態で接続して下さい。
- ①推奨工具を使用せず下穴を別工具で穴開け加工しての締結では、記載の最大引張強度は得られません。

イイファス株式会社/株式会社シグテックファスナー

詳しい情報は こちらから <http://www.iifas.jp> Email:sales@iifas.jp

NO-000080